

米軍のため
絶滅の危機
マゲシカが
泣いている

「馬毛島基地建設は中止せよ」



馬毛島問題を質問する
田村貴昭議員
(2020年2月18日、衆院予算委員会)

いっかんして求めてきました

馬毛島への基地建設が浮上した当初から日本共産党は、いっかんして中止を求め、地元自治体、観光業界、漁業者、関係団体と協力し、防衛省に要請・交渉を行ってきました。国会では、島の土地取得をめぐる疑惑を追及、マゲシカや漁場への影響など、豊かな自然をこわす基地建設の問題を何度も取りあげました。これからも「基地ノー」をつらぬきます。

日本共産党

進め方も 目的も なりふり構わず、やりたい放題 国会で徹底追及してきました

●違法・無法のオンパレード

馬毛島は元の地権者が無許可で十字架状に伐根、伐採した森林法違反の物件。当初の土地評価額が約20億円だったものを160億円で買収合意、これには土地造成費も込みだったことが田村貴昭議員の質問で明らか。買収額は予算計上せず辺野古米軍新基地建設予算を流用…。国の税金で、違法に開発された土地を地権者の言い値で買い、国会にも諮らないなど、あまりのデタラメぶり。

●米軍のFCLPのため騒音、事故の危険に脅かされる

馬毛島自衛隊基地の最大の目的は米軍のFCLP(空母艦載機の陸上地着陸訓練)。水陸機動団の全面展開、戦闘機F-35、F-15の連続離着陸訓練、F-35Bの艦艇発着艦訓練、空挺降投下訓練など、陸海空自衛隊のありとあらゆる訓練が実施される計画。昨年末、屋久島沖で墜落事故をおこしたオスプレイの使用も否定していない。

●種子島の島民の生活一変

昨年1月から工事が始まり、種子島には数千人の工事関係者が押し寄せ、地価や家賃は高騰し、宿泊施設は逼迫。観光客が予約できない状態に。基幹産業のサトウキビなど農業や漁業は賃金の高い基地関連の仕事に流れ、人手不足が深刻で、魚の水揚げも減少。しかし、いずれ基地工事の作業員は去り、「島の島」に、これが島の明るい未来につながるでしょうか。



西之表市住吉港から馬毛島基地工事に向かう運搬船に乗り込む人たち。



田村貴昭議員の馬毛島質問を報じる新聞(2022年)

種子島のみなさん

平和への願い
託してください

総選挙九州・沖縄の比例名簿登載予定者



沖繩1区重複
衆議院議員8期
あかみね政賢(前)



衆議院議員3期
田村 貴昭(前)



鹿児島2区重複
元・鹿児島県議
まつきまき真琴(新)



前・沖縄県議
島袋 恵祐(新)

比例代表は「日本共産党」と政党名で

制度解説

福岡市中央区薬院3-13-12大場ビル3階
TEL092-526-1933
ホームページ <http://kyuokistarfree.jp/>
発行/日本共産党国会議員団【部内資料】
九州沖縄ブロック事務所



九州沖縄ブロック
事務所ニュース【号外】